



◆ **YAフェア** 7/1 (木) ~ 7/30 (金)

夏休みを前にして、図書館では中高生が楽しく読める本(YA)をたくさん準備してお待ちしています。ぜひ手に取ってご覧ください。

Library

みんなの図書館

◎開館時間：午前9時～午後7時

◎7月の休館日：8日(木)、22日(木)

◆ **読書感想文講座** ~夏休み前におすすめです~

本を読んだけど、感想文を書くのって難しい！読書感想文がなかなか書けない…書き始めるのは、いつも夏休み終わるころ…そんな悩み、ありませんか？このチャンスに文章力を身につけよう！！お問い合わせ・申込みは図書館まで。

●7月11日(日)、18日(日)、25日(日) 午後2時～4時

◆ 『**男女共同参画週間図書展示会**』 6/23 (水) ~ 7/6 (火)

男女共同参画やSDGs関連図書を展示します。

第405回 おはなしの会

[日時] 7月3日(土) 午前10時～

[場所] 白鷹町立図書館

[内容] セタまつりお楽しみ会

☎0238-87-0217

《 **今月の新刊図書** 》 (掲載しているのは購入図書の一部です)

主な新購入図書	著者	主な新購入図書	著者
ザリガニの鳴くところ (本屋大賞翻訳小説部門第1位)	ディーリア・オーエンズ 友廣 純/訳	～大自然の景色を手本に作る、ガラスケースのジャングル～	長谷 圭祐
沈黙の終わり (上・下)	堂場 瞬一	飛べ、暁 (児童書)	藤岡 陽子
エレジーは流れない	三浦 しをん	キプリング童話集 (児童書)	ラドヤード・キプリング
小説8050	林 真理子	おひさま わらった (絵本)	きくち ちき
★課題図書も取り揃えました。		ひ～ (絵本)	いとう ようい

おかげさまで

みなさまに愛され！

来館者数

50000人突破

令和元年6月にリニューアルオープンしてから約2年、5月8日に来館者が5万人を突破しました。

5万人目の来館者は、鮎貝小学校2年生菊地悠真くんです。図書館からは、お祝いのメダル(職員手作り)や物語の本(中川館長著)などを記念として贈呈しました。本が好きな悠真くん、最近のお気に入り『かこさとしのおはなしえほんシリーズ』だそうです。お母さんの里美さんは、小学校で読み聞かせをするための本を探しに来館されたそうです。ちょうど開催していた「おはなしの会」にもご参加いただきました。

親子で楽しめる図書館、家庭や学校での読み聞かせが広がる図書館、みなさまにますます愛される図書館をめざしてまいります。みなさまのご来館をお待ちしています。



記念すべき5万人目の来館者となった菊地里美さんと悠真くん

さんぽ道ぽ

白鷹町史談会

絵馬に込められた 願いごと

十王の仏坂に「馬頭観音」とよばれている観音堂があります。このお堂には、馬の頭の彫刻がついた馬頭観音という仏像がまつられています。村の人々は、農作業をする馬を守る仏として4月18日にお祭りをしていました。



3頭の馬を彫刻した絵馬

また20枚の絵馬も納められています。絵馬というのは、昔は神社に自分の願いをきいてほしいとお祈りする時に生きた馬をおそなえしましたが、その代わりとして願いをかいた「絵の額」を納めるようになりました。堂内には、板に3頭の馬を彫刻した絵馬があります。奉納者は十王の渋谷安就（やすゆき）という人で、今から163年前の安政5年のことでした。松の木、馬、雲、水の流れが彫られていて、自分の家の馬が「丈夫で長く働き続けることができること、田が水不足にならないように」という願いが込められていることとされます。絵馬を彫った人は、長井市西根の長谷部吉之助という人で、十王の龍澤寺養蚕神社の彫工の一人です。（白鷹町史談会会長 平吹利数）



地域歴史文化について、本号から4回お伝えします。次は7月号お楽しみに。

地域おこし協力隊通信

—— 第63回 ——

「四季折々に触れて」

地域おこし協力隊

笹本富士子



白鷹町での生活が、早いもので間もなく一年になります。皆さんが心配してくださった雪の暮らしも地域の方々に支えられ、桜花吹く春を迎えることが出来ました。移住前に住んでいた関東では、3月中旬頃から主にソメイヨシノが咲きますが、白鷹町では、4月上旬、関東では珍しいエドヒガンが咲くことや、古典桜の数の多さ、さらに開花時期も長く感じられ、水仙もたくさん見られて綺麗でした。6月に咲く紫陽花がどんな風に咲くのか今から楽しみです。季節折々の花便りを楽しみながら、地域おこし協力隊として励んで

いきます。

過日、紅花の種まきを体験させていただきました。昨年はコロナ感染予防対策で参加することができなかったのが、やっと年間を通しての紅花の成長を見守ることができました。紅花の開花が楽しみです。商品の開発にも取り組んでいます。紅花染めの糸を手織りしてきた布を「呉藍布」と名付け、布ナプキン・トートバッグ・手ぬぐい・カイロなど、試行試作しています。ワタと藍の栽培も挑戦中です。たくさん挑戦したいことが多く、さらに楽しくなりそうな2年目です。

昨年からの取り組みでいる青芋も、今年はまだ一歩進めたいと思っています。現在、協力メンバーは3名です。もし興味がある方がいらしたら、青芋の刈り取りや繊維を取り出すおびき、小物作りなどの作業に、ご協力いただけたらとても嬉しいです。皆さんのご協力の声掛けをお待ちしています。



水面に映る新緑